

がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

<べんきょうすること>

◆「あいうえおで あそぼう」（きょうかしよ 62～65 ページ）をがくしゅうします。

(1) 62～63 ページを、いろいろな よみかたで、よみましょう。

チャレンジ ① ゆっくり よむ

チャレンジ ② おおきな こえで よむ

チャレンジ ③ とまらずに よむ

チャレンジ ④ リズムをつけて よむ

チャレンジ ⑤ ことばをかえて よむ

れい

あ	やとり	いすとり	あいうえお
---	-----	------	-------

あ	さがお	えにつき	あいうえお
---	-----	------	-------

いちばんはじめのもじと、
さいごのぶぶんはかえませ
ん。のこりのぶぶんをかえ
てみましょう。

(2) 64～65 ページの「あいうえお」のひょうを、たてや よこによみま
しょう。

(3) 64～65 ページの下のだんのように、しりとりをしましょう。

めだか → か(み) → (み)せ → せんべい → (い)ぬ

(4) ノートやとりくみシートに、64 ページから 65 ページの しりとりで、
でてきていることばを、れんしゅうしましょう。

(5) ノートやとりくみシートに、しりとりしたことばをかいてみましょう。

チャレンジ しりとりを5かいつづける。

※(3)のれいのように、めだかから、いぬのように、ぜんぶで5つの
ことばをのーとやとりくみしーとにかきます。

◆きょうかしよ 68～77 ページ「おおきな かぶ」をがくしゅうします。

(1) 「おおきな かぶ」をくりかえしよみます。

・おはなしにでてくるひとを たしかめましょう。

※「おおきな かぶ」は、つぎのかいで、つづきをがくしゅうします。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・可能であれば、お子さんと一緒にしりとりを行ってあげてください。やりとりの中で言葉を
思いついたり、おうちの方から新しい言葉を学んだりするきっかけとなります。
- ・文部科学省「子供の学び応援サイト」では、NHK for school が紹介されています。
NHK for school「おはなしのくに」では、「大きなかぶ」のお話を動画で見ることができ
ます。(2020年度よりも過去の配信リスト「その他の放送」から選べます)

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<べんきょうすること>

◆「のこりはいくつ」（きょうかしよ 57～59 ページ）

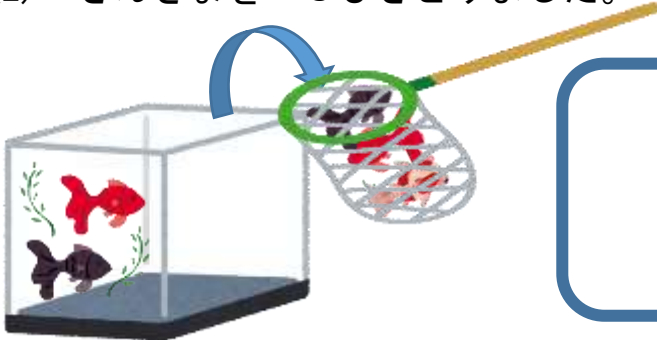
のこりは なんびきに なるかな？
おはなしの とおりに ^{ぶろっく}ブロックをおいて うごかしてみよう

(1) すいそうに きんぎょが、 5ひきいます。

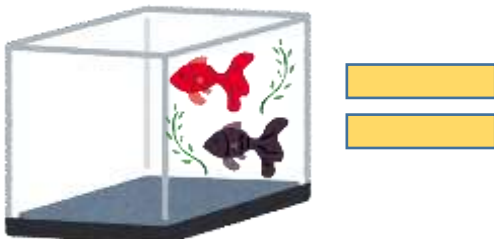


※わくのなかに ブロックをおきます。

(2) きんぎょを 3ひきとりました。



(3) のこりは ひきになりました。



おはなしに あわせて
ブロックを うごかすことが できるかな？

5あって 3とると、 2になります。
これを さんすうのことば であらわすと…

しき $5 - 3 = 2$
5ひく3 は 2

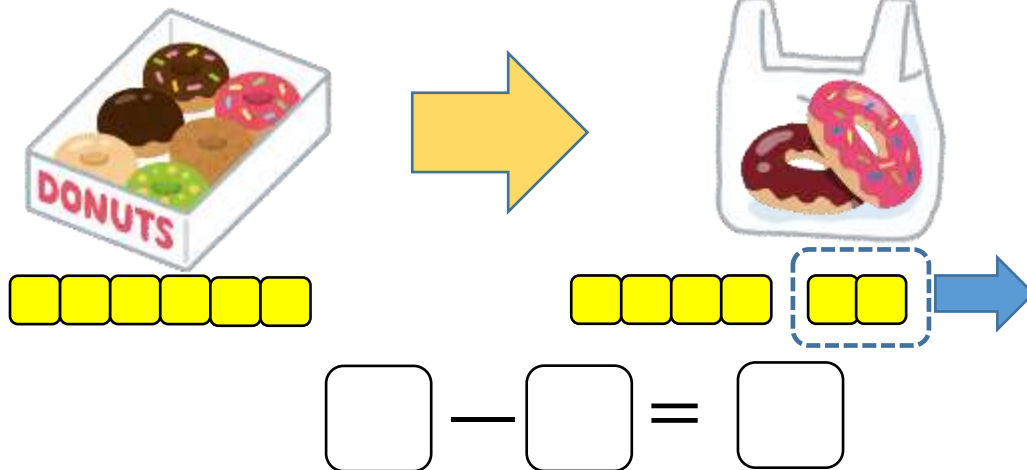
こたえ **2** ひき

※このような けいさんを **ひきざん** といいます。

えをみて ひきざんの しきに かきましょう。

はじめにドーナツが6こ

ドーナツを2こもちかえると



<じぶんで ひきざんの しきになる おはなしを かんがえて
ノートやとりくみシートにかいてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆のこりはいくつ（教科書 P57～59）

- ・この課題から、ひき算の学習になります。ひき算の学習でも、式を立てる際に、ブロックやおはじき等、他のものに置き換えて考えたり、問題場面を「しき」という算数言葉で表したりすることが大事になります。
- ・ひき算では、ノートに図をかいたときに、「あったものがなくなる」という状況表現することになります。このことを、子どもは難しいと感じることがあります。ブロックを動かすという動作が式の意味とつながっていることが大事です。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具をつかうときは、かたい物やわれる物はつかわず、安全におこないましょう。

<べんきょうすること>

※参考動画

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html



◆「バランスをとるうごき」にちょうせんしましょう。

- (1) 紙コップをあたまの上ののせておとさないように歩いてみましょう。
- (2) あるく速さや回数、しせいなどを変えてチャレンジしてみよう。
- (3) 紙コップを体のいろいろなばしょにのせてチャレンジしてみよう。



<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。